

日時：2014年8月29日（金）

場所：かがわ総合リハビリテーションセンター

参加者機関： 竜雲メンタルクリニック、森岡メンタルクリニック、いわき病院、大西病院、三光病院、大西精神衛生研究所附属若葉、グループホームネットかがわ、障害者地域生活支援センターほっと、地域活動支援センタークリマ、高松保護観察所、香川県精神保健福祉センター、高松市障がい福祉課、ライブサポートセンター、三木町健康福祉課、15機関（順不同）

○報告：就労部会からの説明

A型事業所からの活動報告

・「ジョイピース」・・・事業所は高松市屋島西町

・「かけはし」・・・事業所は坂出市大家富町

2事業所とも、平成26年4月から開設。それぞれの作業内容について説明がされた。

○議題：

i) 地域移行支援の活動について

長期入院患者を対象に退院の動機付けを、病院ごとのニーズにどう応えて、自立支援協議会としてどういう形で退院支援の働きかけができるか、受け入れ側の各病院からの報告をおこなう。

A病院

家族向けのアプローチを検討していたが、療養病棟の入院者への退院への意識付けとして活用したいと考えている。

B病院

昨年度、直接スタッフに説明していただけたことはありがたかった。どういう風にしていけば機会が作れるか教えてほしい。

⇒昨年度の研修の講師であった東氏の言うように病院等によってニーズが違うのでそれにあわせて、柔軟に受け入れやすい企画をする。また、直接本人に話をするのではなく、家族だけでも、もしくは職員だけでもいいのではないかと。地域移行の働きかけが継続していける方法が取ればいいと思うとの意見が大勢を占める。



PDF Complete
Your complimentary use period has ended.
Thank you for using PDF Complete.

[Click Here to upgrade to Unlimited Pages and Expanded Features](#)

ii) 事例検討について

現在入院中の介護保険適用の年齢の人だが、自立しており障がいのサービスの利用できないか。法律の狭間でどうしたらいいのか。将来的には、自宅にもどることを考えている。自宅にもどった場合の治療について、病院としてかわりは続けていくのか。病院としては、地域にもどる前に服薬の自己管理等が習慣付くまで、グループホームの利用ができればと考える。

⇒介護保険適用者のため、介護認定の申請をして非該当の判定を受けて福祉サービスを利用につなげている事例があるので、同じ流れになると思うが、ケースに応じた対応になっていくと思う。

<次回>

一人暮らしで地域移行を使って地域で生活している人のケースの課題について検討していく。

iii) 居宅介護支援事業所職員・相談支援専門員などへの研修会について

- ・日程は11月13日(木)で決定。講師のお話の後にグループワークを入れていこうと思う。グループワークは好評のため。
- ・内容は、精神の受入の仕方が分からない、専門知識を深めてやっていきたいという意見があるのでそれを講師に伝えてグループワークをしていきたい。
- ・研修会の案内を自立支援協議会の会長名にして、行政の後援を外そうと思う。理由は、自立支援協議会というものも広まっているし、協議会の中に行政が含まれているため。
- ・次回までにチラシ作成や案内方法を考える。

その他

来年度予算について

今回は9月26日(金)リハセン

以上